

2023年10月30日
株式会社グローバルジャパン

映画監督ジャッキー・ウーが、ショートムービー『残照のかなたに』で
マンハッタン国際映画祭 2023 最優秀監督賞を受賞のお知らせ

株式会社グローバルジャパン（東京都渋谷区、代表取締役社長：大平 義之）は、所属の映画監督ジャッキー・ウーが、最新作ショートムービー『残照のかなたに（英題名：Beyond The Afterglow）』で、2023年10月13日（NY時間）マンハッタン国際映画祭 2023にて、最高の栄誉である最優秀監督賞を受賞したことをお伝えいたします。

本作の受賞について、マンハッタン国際映画祭の審査員たちからは「様々な価値観を持っている様々な国の方々がいろいろなテーマで映画を製作している中で、こんなにもすべての国の人々の心に突き刺さる映画は初めて。それはすべての観客が示した大きな拍手が表しています」と評価を受けました。

『残照のかなたに』は、信州を舞台に余命いくばくもない老作家と新人看護師が心を通わす短編映画です。2021年の末、コロナ禍で海外との行き来ができないなか、海外で注目されているショートムービーを国内で撮影しようと、老作家役に林与一、看護師役には500人のオーディションから選ばれた新人の岩瀬あんなを起用し製作いたしました。

コロナ禍で撮影すること自体が難しいなか、稼働中の病院施設での撮影は、長野県上田市の丸子中央病院の皆さまの協力がなければ成立しませんでした。

今回は新型コロナ対策から通常のエキストラの使用を断念し、100人を超えるエキストラすべてを病院スタッフの皆さまに協力をうけ、劇中の看護師役・医師役も、現役の看護師・医師の方々に演技いただきました。このように丸子中央病院の全面協力のもと、オール上田ロケで完成することができた作品です。

マンハッタン国際映画祭において『残照のかなたに』での受賞について、ジャッキー・ウー監督は次のように述べています。

「この映画は多くの熱いサポーター・協力者、才能あるキャストとクルー、そして映画祭の審査員の皆様に支えられています。この賞は彼ら彼女らへの感謝の印とその情熱への讃辞であり、映画製作におけるテーマや視覚的スタイルといった芸術的ビジョンさらに創造性の結果だと考えています。」

◆マンハッタン国際映画祭

アメリカ・ニューヨークのマンハッタンで毎年開催されている映画の祭典で、今年で13年目を迎える。今年10月12日から15日まで開催され、ニューヨーク・マンハッタンの複数の劇場にて、何百本もの応募作品から選ばれた質の高いフィルムが上映された。また同時にオンラインでも上映された。プログラムは、ドキュメンタリー、学生映画、そして社会との関連性をテーマにしたプロフェッショナルな映画まで、世界中からあらゆるジャンルの多様なプログラムを網羅している。



◆ジャッキー・ウー

中国人2世の父親のもと、横浜で生まれ育つ。長年抱き続けてきたエンターテインメントの世界への夢と、“アジア”への熱い思いから、1996年に日本を離れ、香港を皮切りに新たなキャリアをスタートした。アジア各国で様々な出会いを重ね、映画俳優・映画監督・プロデューサーとして多くの映画に携わってきた。映画監督として、「マンハッタン国際映画祭2014」「ドイツ・ベルリン国際フィルムメーカーフェスティバル2016」「スペイン・マドリッド国際映画祭2017」「イタリア・ミラノ国際映画祭2018」と異なる国で、監督賞を受賞している。

◆株式会社グローバルジャパン

事業内容：映画等の企画及び製作、タレントマネージメント、*芸能美容スタジオの経営、化粧品の開発及び販売（*芸能美容は商標登録済）

HP：<https://globaljapan-j.com/company/>

◆配信

「残照のかなたに」は下記より配信されております。

アマゾン Prime Video、グーグルTV、ひかりTV、ビデオマーケット、U-NEXT

◆お問合せ先

株式会社グローバルジャパン

電話：03-5423-7290（代）

メール：masao.globaljapan@gmail.com

担当) 大平昌夫